



東九州支部報

第85号

公益社団法人日本山岳会東九州支部
2019年4月25日(木)発行



平成31年度定期総会・4月20日(土)・大分市・コンパルホールにて

も く じ

1. 支部活動		ペンリレー(第32回)	8
平成31年度定期総会報告	2	より安全な山登りのために(N032)	8
平成31年度の主な事業計画	2	三角点と城山探訪シリーズ(第25回)	9
支部報メール受信者の年会費	3	私の無名山ガイドブック(第72回)	10
総会で選出された新役員	4	交流登山(短歌)	11
総会記念講演	4	御許古道	12
三俣山	4	大分百山完登(N010)	13
白滝山	5	3, 支部からの報告	
皿内成城山	6	支部の会議等報告・支部ルーム	13
青年部研修山行(N04)	7	4, お知らせコーナ	14
2. 個人投稿		後記	16

平成31年度定期総会

平成31年度東九州支部定期総会が、さる4月20日(土) 大分市府内町の「コンパルホール・視聴覚室」で開催された。総会には会員56名(うち委任出席22名)で4月20日現在の会員73名の過半数を超えていて(ほかに準会員4名・会友24名が出席)総会は成立。

最初に甲斐副支部長が「平成最後の定期総会を、記念に残る有意義な総会にしてほしい」と開会挨拶があり、議長に塩月靖浩会員(14952)を選出して、同議長のもてで議事が進行された。



挨拶する塩月議長

議事録署名委員に野村芳雄会員(10589)、園田暉明会員(13135)を指名。続いて議事に入り、飯田事務局長から第1号議案平成30年度活動報告があり、報告の通り承認された。また次の第2号議案平成30年度会計決算報告を会計の本本委員が、会計監査報告を首藤監事が行い、報告通り承認となった。

続いて飯田事務局長から第3号議案平成31年度(2019年度)事業計画(案)の提案があり、登山教室や青少年体験登山大会などの公益事業、月例山行や韓国山岳会との交流などの共益事業、支部創立60周年に向けた準備計画などの案件が提案され、若干の補強的意見などがあり、原案通りに決定された。

続いて会計の本本委員から第4号議案平成31年度(2019年度)会計予算(案)の提案がありこれも原案通りに決定した。さらに、第5号議案規約規程の改正(案)が提案され、支部報電子版受信者(メール受信者)の支部会費減額を規定した改正案などが原案通りに決定された。

最後に役員改選があり、今年は2年任期の支部役員の改選期にあたる年で、加藤支部長から「平成最後の定期総会を、新しい令和の時代の支部の活動の活性化につなげる総会として、支部は会員の高齢化に対応して、若年会員の増強や、次期リーダー育成、会員の拡



定期総会のように

大など喫緊の課題に備える必要がある。加えて、来年度には支部創立60周年記念を控えており、今年はその準備の年でもあり、支部会員が一致団結して支部活動に参画して頂くようお願いしたい。そこで現役員は監事の一名の交代を別として基本的に全員留任とし、加えて新たに4名の委員補充の提案があり、提案通りに決定した。

総会はこのあと議長の降壇のあと、安東副支部長が「日本社会と同じく、高齢化する支部の活性化に向かって、自分たちの登山力を高めながら支部を盛りたてて下さい」と閉会挨拶をし、出席者全員で記念写真の撮影で総会の全日程を終えた。

平成31年度の主な事業計画

1. 公益事業

(1) 第7期登山入門教室の実施

対象者…一般初心者

募集定数…30名

実施時期…8月から翌年1月

受講料…5000円

(2) 第18回青少年登山教室(体験登山大会)

実施月日…9月8日(日) 青少年や一般参加者

コース…牧ノ戸峠〜久住山 健脚組・元気組・のんびり組の3班編制で3つのコースで実施

参加費…一般参加者2,000円・高校生以下500円

(3) スズタケの枯死とシカの食害状況調査

本谷山西の稜線で6月1日(土)と10月5日(土)に実施

(4) 清掃登山の実施

実施期日…10月19(土)20日(日)

実施場所…九重山系の登山道で実施

(5) 「山の日登山」の実施

名称…「山の日登山」『ふるさとの山を登ろう in
なかつ 八面山』(予定・仮称)
期日…8月11日(日)
場所…中津市・八面山(予定)
参加対象…一般参加者

(6)山の安全を祈る集い

日時…毎年8月第1日曜日(本年は8月4日)
場所…久住遊覧小屋上の遭難慰霊碑前
主催…法華院温泉山荘と共催
参加対象…一般参加者

(7)大船山ミヤマキリシマ保護活動

実施時期…10月(予定)

2.共益事業(支部行事)

(1)月例山行

2019年度のテーマ『県境の山々を登ろう』

5月18日(土)大平山(611m)
6月16日(日)雁股山(807.2m)
7月27日(土)経読岳(992.2m)
8月24日(土)鷹ノ巣山(979.2m)
9月23日(月)岳滅鬼山(1037m)
10月12日(土)13日(月)英彦山(1199.5m)・
犬ヶ岳(1130.9m) 韓国交流登山
11月17日(日)御前岳(1209m)、釈迦岳(1229.5m)
12月14日(土)15日(日)忘年登山
1月26日(日)熊渡山(960.2m)、カラ迫岳(1006m)
2月16日(日)猿駈山(968.1m)
3月15日(日)三国山(993.8m)
4月19日(日)ナハグロ山(1086.3m)

(2)キャリアアップ研修(リーダー育成研修)

- ① 目的…強固な岳人として、より正しい高度な登山技術とマネジメント能力を身につけたリーダー育成をはかり、会員の増強と支部全体の技術・技能の向上と支部の活性化につなげる。
- ② 受講対象…会員・準会員を対象として受講希望者を募って登録する。
- ③ 研修の内容…読図、地形把握、ガレ場歩き、藪漕ぎ、沢登り、クライミング、雪山、ビバーク、ルートファインディング、リーダーシップ、メンバーシップ等
- ④ 日程場所
第1回 5月12日(日)祖母山系：小松尾根下部
第2回…6月9日(日)祖母山系：小松尾根上部(1回目の続き)
第3回…10月6日(日)祖母山系：大谷川スズコヤ沢
第4回…11月30日(土)高崎山：大谷
第5回…1月3日(金)～5日(日)伯耆大山雪山実践

(3)合宿交歓会

月日…10月19日(土)20日(日)
場所…九重坊ガツル「あせび小屋」

(4)忘年登山と忘年会

期日…12月14日(土)15日(日)
山行…県南の山

(5)韓国山岳会蔚山支部との交流登山

本年度は韓国山岳会を招いて当支部で実施
実施時期…10月12(土)～14日(月)を予定
場所…英彦山・犬ヶ岳と「やまくにの郷」

(6)喜寿お祝い登山

実施月日…9月21日(土) 登る山…涌蓋山

(7)新入会員オリエンテーション

実施時期…6月20日(木)
対象会員…平成30年度以降新規加入会員・準会員・会友

(8)支部報の発行

本年度も季刊として、4月(第85号)、7月(第86号)、10月(第87号)1月(第88号)を発行する。

支部報メール(電子版) 受信者の 支部年会費を減額

第5号議案規約規程の改正(案)では、支部報の電子版受信者の支部年会費を500円減額できるよう規約が改正された。

これは、現在年4回(季刊発行)発行している支部報の電子版受信(電子メールによりPDFファイル・オールカラー版)で受信できる支部会員には印刷した支部報を郵送していないが、今後いっそう協力者を募り、発送経費や印刷経費の節約、発行・発送作業の軽減につなげていくため、電子版受信者には郵送料を還元するかたちで、年会費を500円減額することが出来るよう規約改正されたものである。

そのほか、規程改正では「支部ルーム設置要項」で毎月第一金曜日に大分市西部公民館研修室で『支部ルーム』を開設して、支部会員が情報交換や打ち合わせ協議、研修・勉強会などで気軽に利用できるよう明記した。

総会で選出された新支部役員

支部長	加藤 英彦	留任	8765
副支部長	甲斐 良治	留任	8940
副支部長	安東 桂三	留任	9193
事務局長	飯田 勝之	留任	10912
会計	木本 義雄	留任	12019
委員	阿南 寿範	留任	9169
委員	鹿島 正隆	新任	11546
委員	中野 稔	留任	13997
委員	田所 歳朗	留任	14024
委員	久保 洋一	留任	14168
委員	井上 高明	新任	14737
委員	浅野 総一	留任	15201
委員	桜井 依里	新任	15463
委員	宮原 照昭	留任	15683
委員	佐藤 裕之	新任	16315
監事	大平 展義	留任	6809
監事	下川 智子	新任	14649

(数字は会員番号)

総会記念講演

「みんなでできる！ ひざ関節痛予防」

定期総会恒例のアトラクションは今年は記念講演会として、総会開会前の17時30分から開催された。講師は新しく支部会員となった日出町・サンライズ酒井病院の整形外科医師の小林哲士会員(番号16213)で、山登りと関係の深い膝の関節痛について。



(小林Dr)

膝関節の構造と痛みとなる症状や原因などについて。特に多いのが変形性膝関節症。

膝の関節は、大腿骨(太ももの骨)と脛骨(すねの骨)、そして膝蓋骨(お皿)が組み合わさってできていて、骨同士がぶつからないように軟骨で覆われており、その間に半月板というクッション代わりがあり、関節の中は関節液で満たされている。それが長年にわたって重い体重を支えながら動くことで関節の負担が続き、関節軟骨や半月板が次第にすり減って痛みを生じるのが変形性膝関節症。

軟骨がすり減ると元に戻すことは出来ないの
で、痛みを感じたら早めの受診が大切。治療は症状により薬剤による保存療法と手術。

薬による治療は対処療法で、大切なのは運動療法による痛みの防止や軽減である。運動することにより筋肉が鍛えられ、膝が安定して間接への負担が軽減され、また運動により血行が促進され痛みの軽減につながり、体重も減ることになる。などの話があり、また、太股やお尻の筋肉を鍛えたりのばしたりするための運動やストレッチなどの方法。足に負担がかからないための歩き方、坂道の上り方、下り方などの話もあったが、大事なことは重心をしっかりと安定させる姿勢で歩くことが大切で、特に登りや下りに重心が足からそれることで余分な負担が膝にかかる。膝の負担にならないような歩き方の姿勢が大切で、その姿勢を保つにはやはり運動により筋肉の力だという。

このほか、サポーターの種類や使い方などの説明もあり、パワーポイントを使って大変わかりやすい話を40分、そのあとたっぷり20分間の質問時間を設け、沢山の質問にいちいち丁寧な答えで、一時間の講演時間はあっという間に終わった。



小林Drの講演のようす

三俣山(737.6m) 1 月 月例山行報告

大 星 三 千 代 (会友 225)

昨年の登山入門教室で私が参加したときの三俣山は、寒波が緩んだ日、穏やかな青空のなかの登山でした。「今年こそ初めての雪の久住を」と年末にアイゼンを購入し、装着練習ももたつきながらも済ませてわくわくして待ちました。

1月20日、大分を出発する頃は弱い雨、久住に近づくにつれて雨は強くなっていました。

「果たして登るのだろうか」「温泉に入って帰ろうか」車中の会話でした。

今日の山行は登山入門教室実践講座に参加の皆さんとくじゅうヒュッテで合流して、一緒に三俣山へ登る予定です。

ヒュッテに到着すると皆さんもう、レインウエアーを身に着けて準備中。慌てて準備です。

8時過ぎミーティングののち、出発です。黒土のぬかるみの道を進みます。アセビの林の中を進んで大曲の登山口のルートと合流。

谷を渡って急斜面の登りはいっそうぬかるんでいて、水たまりを避けて歩こうとしますが早々に滑って、レインも靴も泥だらけ。なんとか黒土の道をやり過ごし、硫黄鉱山道路へ。

舗装の鉱山道路は吹きさらしで、ますます風は強くなり、雨は霰まじりです。鉱山道路からスガモリ越への登りの手前で、登山教室の皆さんはここで引き返すことになりました。

「スガモリ越えまで行って判断しましょう」という声に、少々心細くなりつつも、先輩の皆さんと一緒に大丈夫と思い、スガモリ越を目指して6人で再出発しました。スガモリまでは、岩ゴロゴロの登りです。霰が頬を打ち、視界はガスで真っ白な上にメガネは水滴で曇り先が見えません。岩にペンキで記された黄色い大きな丸印がなんとありがたかったことか。

バランスの悪い私は風に体があおられながらも、皆さんの背中をめざして、9時45分何とかスガモリ越の休憩所に到着しました。「荒天もまた良い経験になったね」と言っただき、皆さんの優しさに感謝です。あたたかいお茶と甘いもので一息。ここで下ることになりました。

下りも黒土の道を慎重にかつ、もう泥んこに諦めもつき少し楽しくもなりつつも、大曲への梯子が見えた時にはホッとしました。荒天時の経験談、レインウエアーや靴のメンテナンス方法など教えて頂きながらの楽しい下りでした。

冷えた体で九重ヒュッテの温泉につかったときの幸せな気持ち、ほんとにありがたかったです。思い出に残る山行になりました。お世話になりました。

参加者…久保、若月、柳瀬、伊井、平原、大星(登山入門教室のエスコート要員…飯田、丹生、久知良、浅野、宮原)

白滝山(667.6m)

2月月例山行報告

古野文江(会友230)

2月の月例山行は山口・島根県境にある十種ヶ峰(988.6m)でちょっと本格的な雪山のよていであった。しかし暖冬でほとんど雪山道が期待出来ない状況なので、急遽コースが変更して選んだのが、おなじ山口県の西部、下関市の北端にある白滝山だ。低い山だが沢沿いのちょっと険しい沢道登りの体験だという。

6:00大分を出発し、6:30別府組と合流。総勢10名の山行となる。下関市の小月ICを下りて、国道491号を北上して、豊北町の道の駅で休憩のあと、山頂付近まで続く車道の、標高310mの所にある、谷の登り口に9:30に着く。

ここから沢を登るのだ。現地は、好天候の予報に反し生憎の曇天で空が重い。リーダーから注意事項などの説明を受け、ヘルメットの装着など準備を終えて登山開始。

三つのパーティーを組んで9:55より沢にはいる。いきなりガレ場の急登が続く。辺りは迷彩柄の木肌を持つ木(カゴの木と教わる)など、柿のような葉の常緑樹が高く繁っていて薄暗い。

30分ほど登った辺りにこの山行一番のゴルジュの難所が待ち受けていた。目の前に立ちはだかるように大岩が行く手を阻んでいる。滑るので攀じ登るのも危い。左右の通れそうな隙間は流れが深みになっているので靴を濡らさず超えるのも難しそうだ。

さて、どうする。左側の岸と大岩の間を何とか渡るしかない。岸と大岩に足を掛けて踏ん張り、リーダーたちが持ってくれるロープに体重を預けようとするも、片方の足を前に踏み出した瞬間にドボン！と右足が水の中へ、という例あり、辛うじて渡れる例ありで、僅か2m程を全員が越えるのにかれこれ30分近くを要した。

一大難所を抜けたがしかしゴルジュの難所歩きが続く。すぐ上に落差5mほどの「白滝」が、一筋の白い帯を



白滝山山頂にて

くっきりと見せていて、難所越えの苦勞を忘れさせてくれた。

少し登ると広い谷となりゴルジュは終わる。木立の中を登ると車道に出て、それを横切ってまた山道へ。林の中に絶えず聞こえる音は山頂付近にいくつも立ち並ぶ風力発電の風車の音だ。

緩いアップダウンでもう一度車道を切って山頂へと向かう。このころからパラパラと木の葉を叩く音が聞こえてきた。細かい霰だ。空はいよいよ怪しい色を帯びてくる。

山頂は「白滝」より登ること30分ほどのところにあり、11:30到着。あまり広くなくて木立の北面に眺望が開けていたものの、生憎の天候で何も見えない。晴れていれば、かの角島大橋辺りまで見えるらしい。

木立の中に霰を避けて昼食をとる。そして集合写真を撮って下山へ。霰はその後小雨へと変わり、何基もの風力発電の風車が頭上を回る中、車道を50分ほど下って13:00ごろ登山口に到着。無事山行を終えた。

リーダーの色々なフォローに感謝、感謝の充実した山行でした。

参加者 リーダー…安東 飯田、鹿島、遠江、芝田、柳瀬、清水(道)、清水(久)、大星、古野

ころ目印があり右へトラバース。特に大きな柱状節理のような岩を巻いたところから、リーダーが先行スリングをいくつか付け始める。急斜面で岩がもろく、立木も枯れていて危険でありロープが掛けられない。スリングを何本か掛けるのでそれを掴んで登るようにとの事。その先の九十九折のようなジグザグ登りで、小砂利や岩が崩れるため落石に注意し2~3人ずつ進んでは待機し、次のグループが進む事など注意喚起がなされた。そこを過ぎ狭い岩稜尾根をフラット気味に進むと頂上の4等三角点に到着。



皿内城山山頂にて

頂上は割と狭く写真撮影の為全員が横に並ぶのがやっと、という広さ。風もあり少し寒く昼食には早いので早速下山となる。復路は往路を降りることになり、登りの時よりのいっそう慎重に下る。目印に付けた赤テープやスリングを回収しながら進む。

途中ミツバツツジや藪椿が少しだけ咲いており明るい色を添えてくれていた。危険な箇所や急斜面のトラバースを過ぎて稜線の下り道になったところで昼食休憩。もう危険な所もなくなったのでみんな和やかに話を弾ませながらの食事だ。

林道に着いてからはのんびり歩き、普段何気なく見落としてしまうコクサギやコシダなどの植物の観察も出来た。駐車スペース付近ではまた山城好きな安部さんが出迎えてくれていた。

今回の山行にあたりリーダーが3回も下見をして目印のテープを付けたり危険箇所をチェックしてくださったとのこと、感謝です。いろいろありましたが楽しい山行となりました。

参加者…リーダー中野 飯田、久保、丹生、櫻井、久知良、長野、遠江、清水(道)、安部(幸)、若月、大渡、松浦、後藤、木下、古野、柳瀬、(エスコート安部)

皿内城山 (535.8m)

3月月例山行報告

柳瀬 里子 (会友 163)

3月の月例登山は県南宇目にも城山があり急峻な岩場でヘルメット着用とのこと。興味津々で参加。

大分駅上野口を6時半に出発。宇目のスーパー「やの」で全員が集合。総勢17名、5台に分乗し出発。県道613号を進み木浦の手前から傾山の西山登山口へ向かって右折。さらに少し行って皿山への分岐を右折。狭い道を上る、小集落の少し手前を進むと安部さんが待ち受けていた。ここで駐車した方が良いと指示があり下車。

ヘルメット着用など全員の準備が整うとリーダーから今日の注意事項が伝達され、準備体操をしてから出発する。しばらく林道を歩くと30分ほどで登山口の赤テープの印が見つかる。ここで再度リーダーから危険回避の対応の指示をつける。

取付くと最初から急登が始まりアキレス腱が伸びきる感じ。途中小さなピークがあるがまた急登。息が切れる

青年部研修山行(4) 報告

御在所岳・α ルンゼ(三重県)

田所 歳朗 (12398)

日程 2019, 2, 9~11

講師：安東

メンバー：鹿島、笠井、矢上、小野

今回の山行で青年部の研修も最後となった。当初は鳥取県の大山の予定であったが、ラストを飾る山行は三重県の御在所αルンゼとなった。理由はアイスクライミングの道具を購入したので、思う存分アイスクライミングを楽しみたかったのだ。決まったからには、練習あるのみ。何度長崎から大分、宮崎に足を運んだ事か。氷がなければ土壁を登り、来る日も来る日もロープに触れて、後は氷があることを祈るのみ。では、田所探検隊出発。初日は移動のみで土山サービスエリ



アでテント泊。トラックのエンジン音と雨音が気になる。

8日(2日目)、4:00 起床しテントを片付ける。寒波が南下し雪が降りだした。暗いうちに現地入りし、鈴鹿スカイラインのゲート駐車場を6:00に出発。気温は-1℃。歩きはなかなかのハイペースで、けっこうキツいんだな。藤内小屋で小休止。少し明るくなってきた。αルンゼ取り付きで崖を見上げると、噂通り氷が少ない。薄い氷は怖い。アイゼン、ハーネス装備を

身に付け、クライミング開始。とにかく待っている間が寒い。九州とは寒さが違う。先頭は安東&笠井組。スクリュウ設置班として大活躍。ありがとうございます。

田所&小野組は2番手で順番が回ってきた。αルンゼの氷はどんな氷なんだ？バイルを振り下ろすと、ガチッ！刺さる感じがしない。それもそのはず、氷の薄いところを叩いて、岩に当たった。氷自体も固いようだ。吹き下ろす風がとても冷たくて手の感覚が鈍り、バイルの刺さりも悪くなる。バイルはとにかく足だけは外れないように、氷を爪先で一杯キックする。アイゼン利いてんのかな？1ピッチ目を無事に登りセルフビレイ。手がかじかんでもたつてしまう。小野も無事に登り、同じくもたつく。ロープワークをすると少し手の感覚が戻る。

とにかく寒いのでどんどん行くよ。2ピッチ目はルートが少し蛇行する。核心部らしいが1ピッチ目と変わらない。何処も難しいから同じ。全部核心部。ここでのビレイは、風が当たらないように岩陰にはいる。風が当たるかどうかで随分違う。

ラスト3ピッチ目、這い上がるように登った。今年入会して登山教室が終わったばかりの小野も無事に登りきった。あとは尾根に出て下る。「ここからしばらくハイキング」らしいが、実は核心部はこの4ピッチ目だった。ものすごくキツイ。息を切らせながら11:30尾根に出た。

下りは3ルンゼ経由。3ルンゼがどんな所か見ていく為である。3ルンゼの氷は青く幻想的であった。あとは藤内沢までひたすら急斜面を降りていく。小野がかなり遅れ始めた。去年まで6本爪しか使ったことがないから、12本爪に慣れていないようだ。延々と下ったから、下り終わる頃には12本爪に慣れていた。この下りは途中で懸垂下降する箇所があり、スリリングな下りだった。13:40 藤内沢に降り着いた。あとは裏道登山道を通り下山。大分に向け15:00出発。

青年部最後の研修山行を無事に終えることができた。青年部の研修といっても青年部参加者は矢上と私の二人。来年度は青年部山行を企画して、研修で学んだ事を伝えたいと思うので、青年部メンバーは是非参加して下さい。青年部以外の方もかまいませんよ。

(完)

個人投稿

ペンリレー ・ 第32回

父が教えてくれた山登り

木本 慶太郎 (12020)



小さいころ父に連れられて山に登りはじめ、高校は登山部に入り由布山や久住山などに登り大学進学で上京したあとは山岳会主催の山登りやスキーに頻繁に参加していました。しかし学生時代がピークでその後は登る頻度は減っていきました。現在はインフラ関連の仕事に就いて年間の半分ほどは国外で出稼ぎ生活をしています。仕事では東南アジア辺境農村地域を数日毎に転々と移動し、携帯電話圏外で電気がなく虫の這う寝床で寝泊まりすることも少なくないのですが登山の縦走に似ているので昔の経験や道具が案外役に立っています。歳は気づけば40過ぎになり中年の仲間入りを果たしたところです。ここに来て、父がしてくれたように子供に山登りを教えたいと思うようになり低い山ではありますが高崎山や高尾山などに毎年連れて行っています。これからも機会をみつけて山登りを楽しみたいと思います。

次回ペンリレーは、安東桂三会員にお願いしました。お楽しみに。

より安全な登山のために

N032

GPS いや アナログのすすめ

安東 桂三 (9193)

毎年、毎年、山岳遭難が増加している。30年の夏山を例にとると、警視庁の統計で、発生件数は721件、遭難者は793名、うち死者・行方不明者は71名。今年の夏の山岳遭難として統計の残る昭和43年以降で、発生件数が最も多く初めて700件を超えた遭難者数は平成27年以降700人を超えて推移して高止まりの状態という。

その遭難事故の様態は道迷いが22.6%を占める。滑落や転倒や疲労も、道迷い故の結果としての滑落や転倒、疲労となることを推察すると道迷いが、一番の根源と考えられる。

なぜ道迷いが多いのかと常に考えていた。現在はGPS専用機だけでなく、GPS機能付きのスマホは多くの岳人が使用し、アプリも多く、それを参照しながら登山している人が多い。これだけ普及しているのに、なぜと言うわけである。

この回答のヒントになる文書が、朝日新聞(2018年12月26日)に投稿された。宮崎県の73歳の女

性の投稿文『ケータイを替えて』。古くなったケータイを機種変更したと言う。スマホデビュー、そこで多くのアプリをこなすようになった。が、彼女は気がついた。『簡単に手に入れる情報、それだけでわかった気分になり、新聞を読む時間がずいぶん減っている。』

楽な方に流されやすいのが私の常。これを機にスマホでは指と頭の体操をしながら、じっくりと活字に向き合う。今までのアナログ生活はしっかり続けなければ、(文書 抜粋)』。

楽に手に入るような読図技術は、本当の読図技術ではないし、データベースが正しいとは限らず、投稿者の技量とそれを参照するGPS・スマホユーザーの技量の差もある。やはり技術は自分の努力によって獲得したものが自己を守り、事故の確率を下げる。国土地理院1/25000図の地形図を自分の目で穴のあくまで見つめ、実際の山で実践することがアナログ生活ということか。それで道迷いは少し減るかな。

人は楽な方に流されることが多いが、スマホやパソコンユーザーが増えた分、文字離れとなっている。文字離れの結果、多くの出版社は本が売れなくて売上減少に悩んでいる。今までに多くの山岳図書を読んできたが、この頃は、良い本に巡り会うことが少なくなった。

過去の本に良いものが良い。日本山岳会晩餐会の図書交換会は良い本が格安で手に入る。多くの本会会員が、仲間と交換しようと数年前から交換会が開催されている。5冊の申込みをしたら、3冊が抽選にあたり、手に入った。3冊の価格は送料込みで1500円ほ

ど。『いまだ下山せず(泉康子著)』『生と死の分岐点(ピット・シューベルト著)』『ヒマラヤ 生と死の物語(池田常道著)』の3冊を手に入れた。

『いまだ下山せず(泉康子著)』これは、私は3冊目の購入だった。最初は1994年の単行本。槍ヶ岳の積雪期登山でこつ然とパーティが消え、結局数か月後に遭難地点と思われる箇所の搜索で、身柄を発見出来た。実話であり登山届の重要性を理解するのに良い本だ。読後は山仲間にも読めと回覧して、どこかに行方不明になってしまった。

『いまだ下山せず(泉康子著)』が1999年に文庫化されたので、それを購入して回覧していたら、また行方不明になってしまった。そして今回、図書交換会で手に入れなおしたと言うわけ。

交換会で手に入れたあと2冊の本も、それぞれ訳があって手に入れたかった本。読書に限らず、より深く、より深くと思う。



2019.12.1 年次晩餐会図書交換会の風景

木原山が見た大事件

三角点と山城探検シリーズ第25回

安部可人(友11)

ある年5月の節句、木原山は何を見たでせうか。地形図「久住」の右下に木原山669.4二等が見えて、家内と30年前登っている。西に湧水老野神社あり、その周辺の溪流「境川」で大エノハを35年間随分釣りました。さて、久住から白丹小学校を過ぎて岡城と姉妹城の「南山城」跡がある(注1)。残念ながら「本丸」は養鶏場だ。近くの「元城主志賀義天公」の

墓を訪れた。442号を東に「竹田道の駅」、その手前を旧道に入ると由緒ある大友初代能直保護の「城原神社」、9月竹田市文化財課の木戸さんが法泉庵の「菊池義武の墓」(写真注2)を案内してくれた。10月10日の再探訪の目的は周辺の写真撮りと「B29殞空の地」でした。

大分から47号線の辻迫を城原に向かうと、道路脇に「B29墜落の地」案内がある。山腹に激突した無人機が70数年間「堀切」を残していて、感動の史跡だ(写真)。休憩所でみた自筆の空中戦の絵がすごい。昭和20年5月5日朝8時、大刀洗を爆撃して帰途、小国で粕谷欣三19歳の紫電改に捕捉され、満願寺から産山上空で2つ落下傘(捕虜)、粕谷機体当たり3番目は自殺、4番目は墜落死、5番目は射殺、県境の久保・池部で紫電改墜落(写真)、火を噴く米機から落下傘4つ(捕虜)、玉来川上空辺りでワトキンス機長・ボンスカ軍曹脱出、無人機が現在の慰霊地に落ちた。

3人はすぐ死んでよかった。残り8人は拘留され九州大学病院に送られた。無差別爆撃には同情の余地なし、だが若き米兵も可哀そうだ。笑顔の集合写真の乗員11名は帰国できなかった。

35年前、シカゴから来た留学生サム君の面倒をみて慕われた。この事件を知っていたら案内したのになあ、と後悔した。彼は帰国して原子力潜水艦、発電所勤務、泊発電所出張で安部宅に2泊、翌日獅師岳へ20年ぶり家内と3人登山したのが最後(靴を保管していた)。

(補足) 機長が脱出したB29無人機体は木原山方向に旋回して、三宅山から反転戻り、東側から豆品37

5. 4三等三角点の丘に激突したか、残念ながら語りべの古老はいない。延岡・日向灘に逃げようとしたか。戦後生まれの方へ、大刀洗には飛行場と軍需工場あり爆撃された(8名は生体解剖された)。工場に動員された父は師範の生徒たちと無事に帰った。親子8人餓死せずにすんだ。

(注2) 大友宗麟の父・義鑑の父には義武という弟がいました。祖父義長は菊池氏が滅亡するのを待って、息子次男坊義武の就職先として菊池に「菊池義武」を送り込んだ。なにが不満か、義武は兄義鑑に叛旗、人吉の相良家に潜んでいたが、府内に護送される途中、「城原の法泉庵」で甥の宗麟に誘殺された。「木原山」を借景とした孤独な墓を遂に発見出来ました。この墓もB29墜落地も平和な山郷「木原山」の山腹にありました(あんべ よしと)

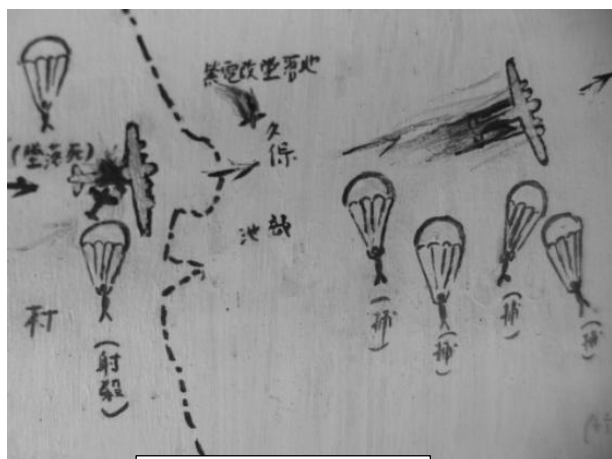
H29 10 実行 地形図「久住」

(注1) 朝地町に「志賀城址」、大友氏の有力な武将志賀氏は「岡城」に移転、最後の城主志賀親次(カヨ)は島津義弘軍を撃退、秀吉激賞、大友氏改易で260年の歴史ある志賀城主は流浪の旅、「南山城」に移転した別の志賀氏は島津に内応、戦後大友義統(ムネ) (宗麟の子) に討伐された。

秀吉は中川秀成に「岡城」を与えて、中川氏は27年間明治まで続いた。百姓一揆の拠点になる「岡城」は取り壊された。1185年、豊後の英雄緒方惟栄(コレシ)が源義経を迎えるため「岡城」を初めて築城したという。



B29墜落大穴を残す現場



県境産山で粕谷機体当たり



菊池義武の墓

私の無名山ガイドブック(第72回)

保慶山・母岳

飯田勝之 (10912)

今回は上津江の熊本県との県境付近の峰を紹介しよう。いずれも定まった登頂ルートはない峰である。

保慶山(1015.9m)

熊本県との県境にあり、北の中腹の谷間にある集落、保慶の名前からつけられた点名の三角点があるピークだ。まわりはほとんどが植林地となっているこの山域であるが、山頂と稜線付近だけに天然林が残っている。

筆者はスーパー林道・奥日田グリーンラインを、兵戸峠の分岐から約5km、白草への分岐から1.7km手前の大きな左カーブの地点からとりついた。

カーブ左手にある広い谷状の斜面は、広く伐採された後にスギの幼木が植えられていて、その中に作業道がジグザグに登っている。この作業道を適当に拾いながら、ウジ(兎道)を辿ったりして登ると小稜線に達するのでこれを左に登る。

稜線の天然林と植林地の境の急斜面を登りついたところが、県境から派生する稜線の肩で、これを南に登っていく。やや急な斜面を登ると緩斜面のゆるい小さなアップダウンの心地よい稜線歩きとなり、やがて根ザサの濃いヤブの中の猛烈な急斜面となる。ウジを頼りに15分あまり急登すると平らになる。

ここが地図上で県境の稜線が北西から南東に直角に曲がっているところで、三角点はさらに南東方向に400mほどの所だ。ほとんど平らな稜線を緩やかに登っていくと15分ほどで平らな鈍頁に達し、ほぼ真ん中に四等三角点がある。

標石のまわりにはヒノキ、ヒサカキ、ツバキ、シロモジ、ムラサキシキブ、ツクバネウツギなどが見られており、県境稜線の大部分県側斜面はほとんど広葉落葉樹の明るい疎林、熊本県側は照葉樹の多い木々に覆われた薄暗い林となっていて、稜線の北斜面と南斜面の植生の違いを鮮明にうかがえるところだ。

参考タイム…スーパー林道→30→稜線の端→30→県境→15→保慶山

母岳(875.8m)

県境の保慶山の西の稜線から上津江の谷に向かって大きくせり出し、川原川と白草川との間に大きな山体を据えているその山全体が母岳で、大小七つの小ピーク



かなり、その最高地点が三等三角点のあるこのピークである。

ここへ登るには白草の集落の下から林道を登ることができるが、長い林道歩きのと、ヤブ漕ぎのかなりきつい急登があり、時間的にも労力的にもスーパー林道から入った方がよい。

スーパー林道の兵戸峠の分岐から4.6km、白草の分岐の手前2.1kmの稜線越の大きな右カーブの地点が入り口だ。稜線の西側斜面は広く伐採された後で、明るい展望地となっている。ここから北に続く突起の多い稜線を行くことになる。

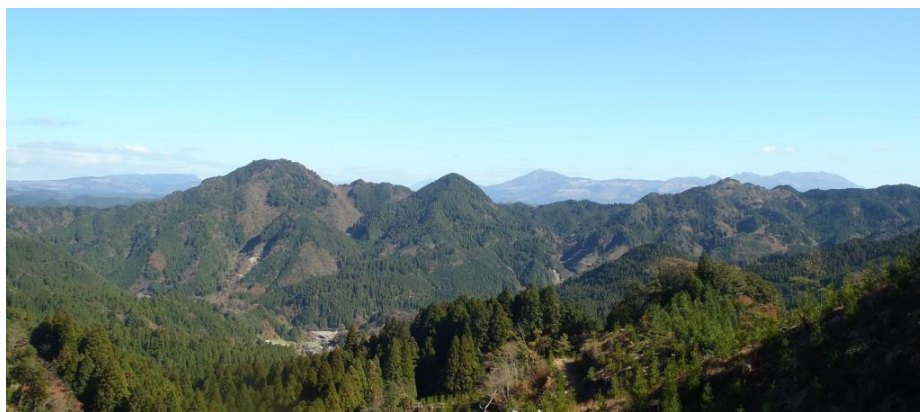
カーブ地点の左のヤブに入り、少し登って緩く下るとさせ尾根となる。サルトリイバラや小枝の多い中を漕ぎ分けて進むと、目の前に急斜面のピークが迫る。小枝のうるさい低木のやぶを分けての急登で、焦らずにウジなどを拾いながら歩きやすい所を選んで直登していく。

林道から20分ほどで手前の小ピークに達するのでひと息入れよう。ここからほぼ直角に右にルートをとるのを間違えないようにして、帰りにも間違わないように目印も必要だ。

登ってきた以上の高度差で下るとやや広い鞍部で、ここから最後の登りとなる。初めは緩やかな登り返したが、杉林からアカガシの目立つ天然林となると、猛烈な急登となり、喘ぎ登ると一気に山頂に達する。

照葉樹の多い灌木林の中で、まわりにはアセビ、ヒサカキ、ツバキ、クロキ、ハイノキ、エゴ、ヤブニッケイ、アカガシ、ナラなどが見られ植生は豊富だ。狭い山頂部の中央に三等三角点があり、「梅岳」と書かれた山頂私標が標石の横に立っている。

参考タイム... スーパー林道 → 25分 → 手前のピーク → 30分 → 梅岳



保慶山から見た梅岳（背後右は九重連山・左は万年山）

韓国交流登山

十勝支隊(15827)

今回で十三回目蔚山支部との

交流登山で釜山をめざす

お久しぶり、アニソヒハセヨ隣国の

山の友らと駆けより握手

湯気のためササゲタン美味し

明日登る鋭気養う朝鮮人参

前になり後ろになり登りゆく

二つの国から五十数名

カキハムニダ ケンチャナヨ

登りながら言葉と習ふ

山頂に篠笛の音優しかりし

アリラン越えよこの山海を

実り田のすぐそば高層マンションの

林立の景蔚山市と云は

来年は九州の山にと肩を抱き

握手し三日間の交流終う

歴史ロマンあふれる おもと 「御許古道」

木下 恵子 (会友186)

「御許古道を一緒に歩きませんか」参加者を募るメールが届いてきた。「おもと古道？」地元に住んでいながら何も知らない…。調べてみると、宇佐神宮の神職たちが御許山の大神神社で修業のために歩いた道で、数年前にこの古い参道が再整備されて『おもと古道』として復活したとのこと。全長6.9kmの参道には、かつての繁栄を伝える石造物が数多く残されているとの情報もあり、「ぜひ、行ってみたい!」という思いで参加した。

3月2日(土)宇佐神宮の裏手の球場駐車場に15名が集合していた。午前9時に出発。狛犬と大きな石灯籠が迎えてくれる大尾神社の入り口から石段を登って鳥居をくぐり、さらに石段を登ると林道に出た。途中には和気清麻呂公の顕彰碑が。大尾神社に着くと標識が始まり、いよいよ『おもと古道』がスタートした。

気持ちのよい照葉樹林を歩き、また林道に。分岐点には六地藏が祀られていた。舗装の林道を登っていく。途中では伐採され見晴らしがよくなった山を望みながら、長い林道を歩きが続いた。

所々に桜並木が作られ、植樹記念碑も。林道の端に、約100m(1丁)ごとに立てた道標(丁石)があった。1時間ほど歩くと大神神社登山口に到着、本格的な登り坂になった。ヒノキの植林地帯を進み、尾根筋に出た。自然林に入ると硯石の看板があり、「これ?」「あれ?」と捜したが結局どれかよくわからず。

展望が開けた所では景色を楽しんだ。参加者が穢れを払ったとされる手水鉢や首なし地藏など石造物にはそれぞれに丁寧な説明板があった。明治の廃仏毀釈で

地藏の首が打ち切られたことなど、時代の流れを知ることができた。まさに歴史探訪である。

大神神社の境内に入ると、大きな杉の木や苔むした石段が目立つようになり、御許六坊跡(僧侶の住居跡)の石垣が現れた。出発から約3時間で大神神社に到着。御神木である大銀杏の木を仰ぎ、拝殿にお参りした。拝殿の裏は神域とされ、立ち入り禁止になっている。御許山の山頂には3個の巨石が祀られているとのこと。

神社の前の広場で昼食後、下山は雲ヶ岳経由である。芋恵良の登山口に安部さんが車で迎えに来てくれることになっているのだ。

約30分で雲ヶ岳へついた。山頂で写真などを撮って、そこから急斜面のジグザグ下りで約1時間で白山神社まで下山した。そこに安部さんの車が待っている。おかげで縦走ができた。

自然と歴史を満喫できた一日だった。こんな山の楽しみ方もいいものだ!



雲ヶ岳山頂にて

参加者…飯田、鹿島、石神、桜井、宮原、大渡、若月、久知良、安部、宮本、清水(道)、木下、(ほか一般参加)

コラム

御許山(おもとさん・647m・別名;馬城峰)。日本書紀には、神代に「比売大神」が「宇佐嶋」に降臨されたと記されており、「比売大神」とは、湍津姫命・市杵嶋姫命・田霧姫命の三女神のことで、「宇佐嶋」とは、御許山(おもとさん)のことで、馬城峰とも呼ばれる。比売大神は八幡大神が現れる以前から、この土地の神さまとして崇敬されてきて、それが宇佐神宮の始まりにつながり、現在の大元神社が宇佐神宮の奥宮といわれる由縁のようである。なみに、宇佐神宮のご祭神八幡大神は、応神天皇のご神霊で欽明天皇の三十二年(571)宇佐の地に顕れたと伝わり、神亀二年(725)現在の地(宇佐市小椋山)に社殿が造立(一之御殿)され、お祀りされるようになっている。



大神神社拝殿の前で

大分百山完登

(No10)

大分在動中に百山完登を

唐津敏徳 (16208)

2017年12月末でもまだ34座。しかし、この辺から僕の体内の細胞が変わって来たのだろうか。雪の中や風雨の苦肉、一人登山での道迷いやちょっとした恐怖。そして、何よりも皆さんとの交流、山頂でいただく季節の新鮮な食べ物、等々が僕を山へ強く強く惹きつけるようになった。「大分で勤務四年目を迎えたい。(そうすれば百山達成できるかもな)」と思い出したのもこの頃だ。

仕事もわりに順調にいったので、めでたく4年度目を迎え、多くの皆さんにお付き合いいただき(名前を出すのがキリがないが、加藤支部長はじめ宮原さん、若月さんにはホントお世話になりました。工藤さん、土屋さんもいつも一緒にありがとうございました。独特なゆっきーとの色々なシーンも忘れません。なんか皆さんを想うと涙が出ます。)、百山完登を目標にペースも上がり、2018年11月に丹生さん、久知良さん、大渡さん、清水くみちゃんと共に無事に百山達成となった。

僕にとって山とは何だろう。世俗を離れて仲間や自然と解け合うこと。浄化の行為と言ってもいい。心も身体も凜とした空気で洗われる。

山に僕を誘っていただいた加藤支部長に改めて感謝して(膝を悪くして登れないのに登山口までいつも連れて行っていただき本当にありがとうございました)、これからも山に登り続けることを心に誓います。

皆さん、本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

大分支店離任後、老いた両親の住む福岡に勤務を得、お陰様で元気に過ごしています。そして天気の良い週末には(雨でも登れと言われそうですが)YAMAP(地図・コンパスも忘れずに!)を頼りにソロで福岡の山を縦走しています。糸島四座(十坊山、浮嶽、女岳、二丈岳)や若杉山から宝満山、雷山から井原山、等なかなかいい縦走路があります。今週末は宗像四塚を縦走しようと計画中です。一人で黙々と時には皆さんとの楽しい山行を想い出し、ほんわかとしつつ太腿に負荷をかけてます。柴田さんとはYAMAPでフォロー仲間なので皆さんの霊山水曜登山会の模様や九重山行等拝見し懐かしさに包まれています。また大分の山で皆さんと一緒にできるのを楽しみにしています。



大分百山完登された方で、まだ支部報に投稿されていない方は是非投稿をお願いします(字数は1,000字程度でお願いします)

支部からの報告

支部の会議報告

第7回役員会 2月7日(金) コンパルホール

1. 本部報告事項(事業報告・会計報告)について
2. 部創立60周年記念行事の準備について
記念誌の発行計画

大分百山踏査・執筆担当の決定 ほか

第8回役員会 3月28日(水) コンパルホール

1. 平成30年度事業報告について
2. 平成31年度事業計画について
3. 規約・規程の改正について
4. 定期総会の運営等についてほか

会計監査

日時 4月9日(水) 場所 コンパルホール

31年度定期総会

日時 4月20日(土)

場所 コンパルホール

支部のルームについて開催状況

2月1日(金) 大分市西部公民館 出席者6名
3月1日(金) 大分市西部公民館 出席者4名
4月5日(金) 大分市西部公民館 出席者4名

支部ルーム開催予定

5月10日(金) 18:00~21:00 大分市西部公民館
6月 7日(金) 18:00~21:00 大分市西部公民館
7月 5日(金) 18:00~21:00 大分市西部公民館
(7月は確定ではありません。日程変更がないか、利用する前に事務局に確かめて下さい)

お知らせコーナー

月例山行のご案内

5月月例山行:大平山(611m)

日 時…5月18日(土)
出 発…5月18日(土) 午前7時00分
集合場所…大分駅南口(上野の森口)
担当リーダー…阿南寿範
参加申し込み…TEL 097-597-7120 080-3187-2003
E-mail beca5844@oct-net.ne.jp
参加申し込み期限…5月13日(月)まで

6月月例山行:雁股山(807.2m)

日 時…6月16日(日)
出 発…6月16日(日)午前7時00分
集合場所…大分駅南口(上野の森口)
参加申し込み期限…6月10日(月)まで
担当リーダー…石神美智子
参加申し込み…TEL 0978-33-1102 090-8414-6424
E-mail gqbdd217@yahoo.co.jp

7月月例山行:経読岳(992.2m)

日 時…7月27日(土)
出 発…7月27日(土)午前7時00分
集合場所…大分駅南口(上野の森口)
参加申し込み期限…7月22日(月)まで
担当リーダー…田所藏朗
参加申し込み…TEL 090-2388-8769
E-mail ta.koro@ezweb.ne.jp

8月月例山行:鷹ノ巣山(979.2m)

日 時…8月24日(土)
出 発…8月24日(土) 午前7時00分
集合場所…大分駅南口(上野の森口)
担当リーダー…鹿島正隆
参加申し込み…TEL 097-545-4846 090-1082-8811
E-mail macpapa@kcf.biglobe.ne.jp
参加申し込み期限…8月19日(月)まで

第1回支部役員会の開催案内

本年度第1回支部役員会を下記の通り開催しますので役員の方はご参集下さい

日 時…5月16日(木) 18時より
場 所…大分市「コンパルホール・201会議室」
議題 1. 役員の仕事分担について
2. 2019年度事業計画の具体的な推進について

3. 当面の予定等について

4. その他

※ 都合で出席が出来ないときにはご連絡下さい

新入支部会員紹介

会員

小林 哲 士 (会員番号 16213) 31年4月編入

準会員

山村 文 彦 (会員番号 A0221) 31年3月入会
笠井 美 世 (会員番号 A0224) 31年3月入会
小野 節 雄 (会員番号 A0225) 31年3月入会
矢上 将 大 (手続き中) 会友から準会員へ

会友

三浦 陽 子 (会友番号235) 31年4月入会
岩尾 祐 輔 (会友番号236) 31年4月入会
工藤 津世子 (会友番号237) 31年4月入会
榎園 清 美 (会友番号238) 31年4月入会
水元 梨 絵 (会友番号239) 31年4月入会
古谷 あい子 (会友番号240) 31年4月入会

新入会員オリエンテーション のご案内

新しい支部会員(会員・準会員・会友)に、これから東九州支部会員として、いろいろな登山活動に参加して頂くうえで、必要な知識や心構えなど、まず最初にご心得頂くための大切な会です是非ご参加下さい。

日 時…6月20日(木) 午後5時30分から
場 所…大分市コンパルホール・「301会議室」
対 象…平成30年度以降に支部会員(会員・準会員・会友)となった方

(但し、それ以前の加入者で、これまでのオリエンテーションに参加されなかった支部会員は是非参加して下さい。)

内 容…①日本山岳会の歴史・組織の現状・活動の内容・年間の主な行事など
②東九州支部の歴史・組織の現状・活動の内容・年間の主な行事など
③支部会員としての心構えや認識
④会員としての日常の登山活動における注意事項や登山の楽しみ方、味わい方、仲間づくりなど

懇親会・終了後支部役員との懇親会(会費4,000円)を
予定していますので、参加できる方はその旨申し込んで
ください。

お申し込み…6月6日(木)までに支部事務局まで

支部報メール(電子版) 受信のお願い

パソコンメール等で支部報の電子版(PDFファイル)を受信できる方を募っています。支部報の印刷経費および発送経費節減のためのご協力のお願いです。メールで受信できる方には印刷した支部報の郵送はいたしません。印刷物と同じ内容の支部報をPDFファイルで全紙面カラー版をお送りできます。

このたびの定期総会で規約改正があり、**電子版受信者には支部年会費を500円削減**して収めることができるようになりました。総会ですでに本年度会費を納められた人には500円をお返しします。

応諾できる方は下記のメールに「支部報電子版受信を承諾します」と明記のうえ、氏名をはっきり書いて送信してください。

応諾者には次回支部報以降、印刷した支部報はお送りせず、メール便で発送いたします。ご協力をよろしくお願いいたします。

応諾メール発信先 jachigashi@leo.bbq.jp

メールアドレスをお間違いないようにお願いします。

スズタケ枯死・シカの食害調査

参加者募集

日時…6月1日(土)

場所…本谷山西の稜線の定点観測地点

集合…午前7時「道の駅・原尻の滝」

行動…尾平越トンネル口から旧尾平越に登り、大分植物研究会の皆さんと定点観測と調査登山の共同作業を行います。

参加者…年二回の恒例となっているこの調査。支部会員の積極的なボランティアでの参加を募ります。

参加できる方は5月29日(水)までに下記支部事務局へご連絡ください。

FAX 0977-21-3437

メール yamatomoki@ari.bbq.jp

募 集

キャリアアップ研修 受講者募集

読図、地形把握、ガレ場歩き、藪漕ぎ、沢登り、クライミング、雪山、ビバーク、ルートファインディング、リーダーシップ、メンバーシップ等

日程場所

第1回 5月12日(日)祖母山系：小松尾根下部

第2回…6月9日(日)祖母山系：小松尾根上部(1回
目の続き)

第3回…10月6日(日)祖母山系：大谷川スズコヤ沢

第4回…11月30日(土)高崎山：大谷

第5回…1月3日(金)～5日(日)伯耆大山雪山実践
(日程は変更の可能性有り)

申込先…安東桂三 090-5727-9472

keizoando@galaxy.ocn.ne.jp

※意欲のある人大歓迎。積極的に受け入れます

支部創立60周年記念海外登山隊 隊員募集

実施時期…2020年9月～10月

行き先…ピサンピーク(6091m)・パル・アグア山域

募集開始…9月



ピサンピーク

60周年記念誌 原稿募集

募集原稿…山行報告、随筆、詩、短歌、俳句、川柳ほか
山の思い出やエピソードや記録、ほかいろんな投稿を
お待ちしております。(おおむね1,000字以内)

提出先…阿南寿範

〒870-1113 大分市中判田 15-55

TEL 097-597-7120 080-3187-2003

メール beca5844@oct-net.ne.jp

原稿締め切り…12月末まで

こぎこぎクラブ のご案内

支部協賛事業の承認を得て、このたび「こぎこぎクラブ」を立ち上げることにしました

この会はいろいろな山の、マイナールート(非正規ルート)や道のないところなどを対象に、ヤブ漕ぎや林内歩き、尾根歩き、谷歩きなどで、地図と磁石などでルートファインディングしながら目的地に達する、探検登山を楽しむことを目的とし、それにより登山スキルの向上を目指す同好会です。県内外のいろいろな場所に挑戦してみたいと考えています。ただし、もっぱらの岩登りや沢登り雪山登山は対象外です。

- (1) メンバーは登録制として、メールアドレスで登録することとします。
- (2) 登録したメンバーには実施計画の都度、メールでお知らせし、その計画に日程と希望が合う場合には参加できることとします。
- (3) 出来るだけ勉強会や検討会、反省会などを開き、会場は支部ルームを活用します
- (4) 車の配車や交通費等は支部の取り決めに準じます
- (5) 会費等は設けません。

興味を感じる方はご遠慮なく申し込んで下さい。
メンバー入会申し込み…氏名とメールアドレスを明記して下記のアドレスに申し込んで下さい

メールアドレス jacyabu@ant.bbiq.jp

主宰者 飯田勝之

※私の通常のアドレスと違いますのでご注意ください

後記

- ・20日の定期総会が終わってとりかかった今回の支部障壁編集。作業しながら気づいたのは月末からの10連休、印刷会社も連休・・・、それを忘れていた。あわてて作業を急いだが、連休前にやっと終りにこぎつけたが、プリントは連休明けとのこと。
- ・支部定期総会が終了して、一年間の活動と運営の総括、新年度の活動と運営の方針が決定された。公益社団法人となって7年。公益事業の推進を中心としてそれなりに事業運営がなされているし、月例山行や忘年登山など支部行事は、参加者は常ににぎやかな人数だ。
- ・なごやかで楽しい登山が出来ているし、山登りの面白さ楽しさに惹かれた意欲的な登山も、個人やグループで盛んになっているようだ。
- ・総会に向けて規約・規定集を全支部会員に配布すべく準備しながら、グループ登山の心構えや、登山計画書の提出や、山岳保険加入など組織に属する登山者としての基本的認識は如何なものだろうか、150有余名の会員全体のものになっているのだろうか、定期総会の資料をつくり・支部報をつくりながら自問自答の日々が続いた。思えば平成はあと6日だ。

(K・I)

公益社団法人日本山岳会東九州支部 東九州支部報 第85号

2019年(平成31年)4月25日発行

発行者 加藤英彦

編集者 飯田勝之

印刷所 佐伯印刷株式会社

発行所 事務局

〒874-0820 別府市原町5-14 飯田方

TEL・FAX 0977-21-3437

E-mail yamatomoki@ari.bbiq.jp



1968年創業の**山溪**が
あなたのアウトドアライフをサポートします。

山道具の
110番
開設中!

靴が合っていないのか、登山に行く度足が痛くなる…。リュックサックが肩に食い込む。テントが雨漏りする。道具の使い方がわからない…等々、弊社ご購入品にかかわらずご相談に応じます。

山溪

西日本最大級の
品揃え!
since 1968
登山・キャンプ専門店

大分市生石1-3-1

GO ミ ナ サンサンサン
TEL 537-3333
FAX 537-3388

- 西大分「交番」前高崎団地入り口
- JR西大分駅より歩いて6分
- 10時～19時30分 ●火曜定休日

